

## F SPORT PARTS

MS344-11001/2/3  
サイドスカート

## 取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTSサイドスカートをお買い上げ頂きありがとうございます。  
本書には、上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

## ■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS344-11001-A1	杓付ノグアガラスレク (083)	LC500	URZ100	'17.03 ~	
MS344-11001-C0	ブラック(212)				
MS344-11001-C2	グレアイトブラックガラスレク (223)				
MS344-11002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	LC500h	GWZ100		
MS344-11003	共通品 (212)				

\*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

## ■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	サイドスカート RH		1	
②	サイドスカート LH		1	
③	タッピングスクリュー		8	M6×16
④	グロメット		8	M6用
⑤	クリップ		4	
⑥	タッピングスクリュー		10	M5×12
⑦	三つ割れリベット		15	黒色 (予備1個を含む)
⑧	穴開け治具 RH		1	
⑨	穴開け治具 LH		1	
⑩	樹脂ワッシャー		12	t=1.0
⑪	型紙		1	A4シール
⑫	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS344-11002-NP(未塗装品セット)のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑬	モール		2	黒 L=2200mm
⑭	モール		2	グレー L=2200mm
⑮	PACプライマー		1	K-500

①



②



⑧



⑨



③



④



⑤



⑥



⑦



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑬⑭⑮は未塗装品にのみ同梱

# 取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

**作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。**



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行ってください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

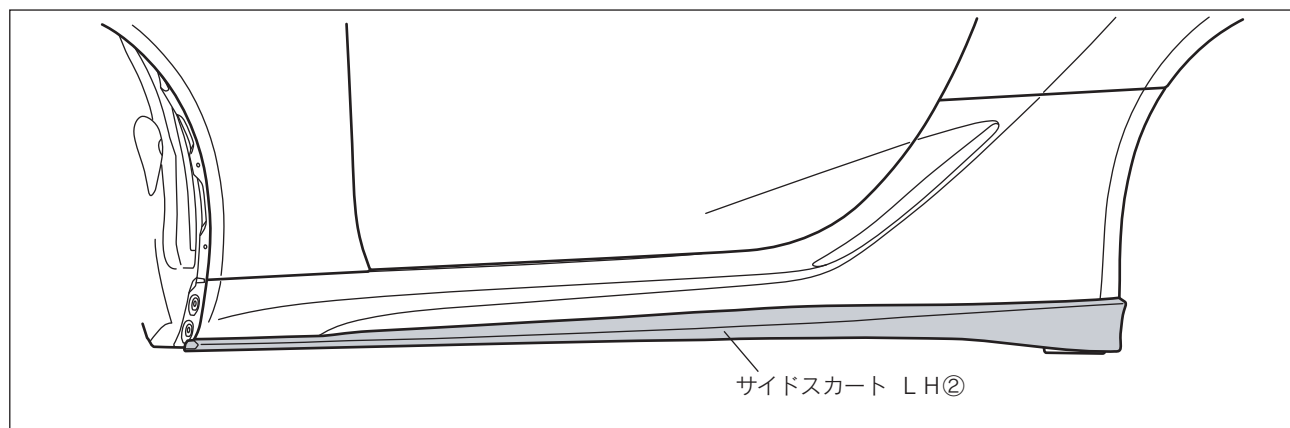
## ■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・ 3
4. 取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～10
5. 取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## ■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ・リベッター
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ガムテープ
- ・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

## ■ 取付構成図

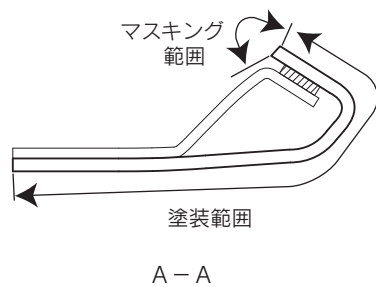
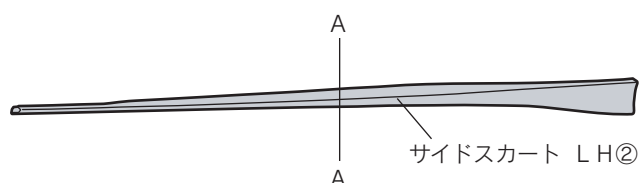


## ■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS344-11002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図1



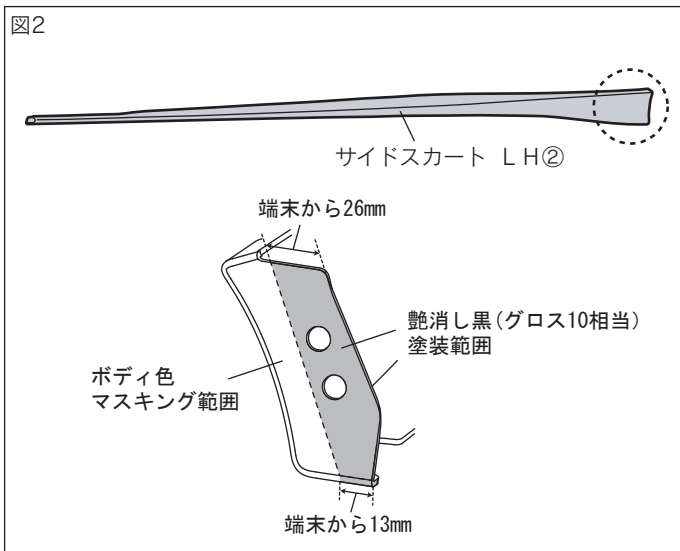
## □ サイドスカートの塗装

1.図1のようにサイドスカート LH②をボディー色で塗装する。

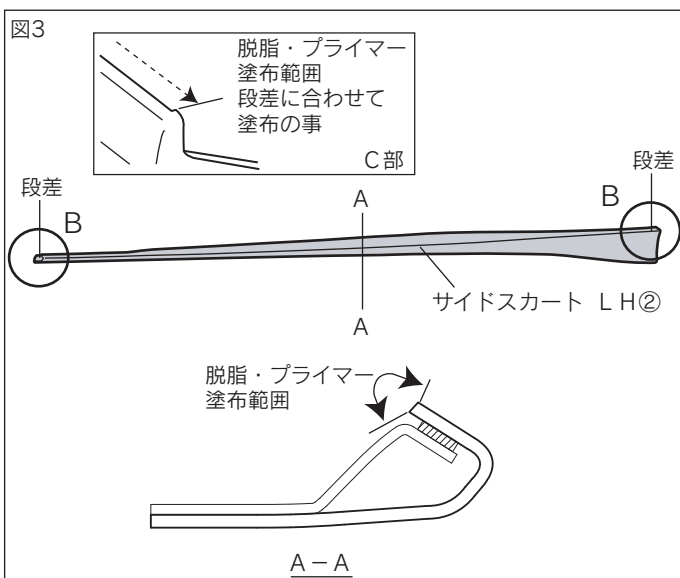
⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下、IPAという)を使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。



2. 図2のようにサイドスカート LH②をマスキングし、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

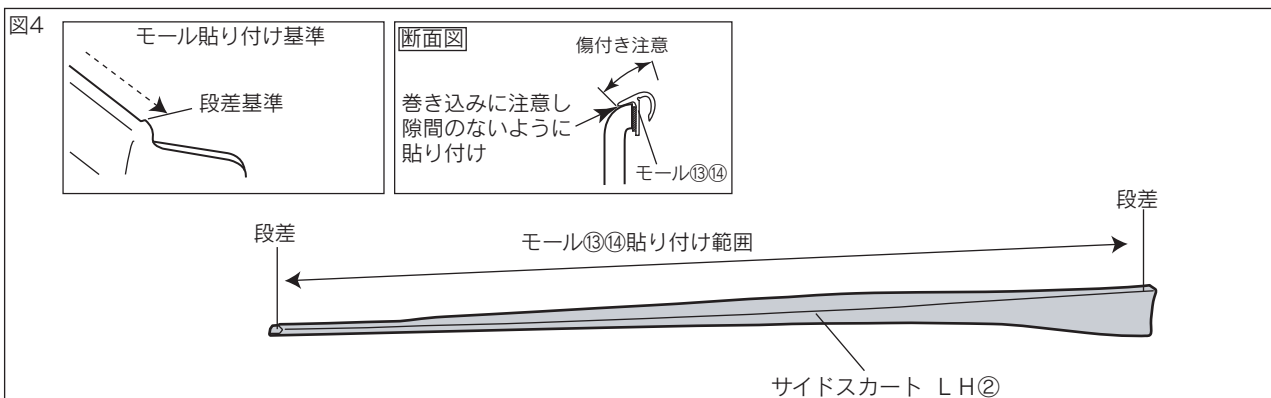


### モールの貼付け

1. 図3のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPAで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー-K-500⑮を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



2. 図4のようにサイドスカート LH②に、モール⑬⑭の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、**{49N (5kgf) 以上}** 圧着する。  
モールの長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

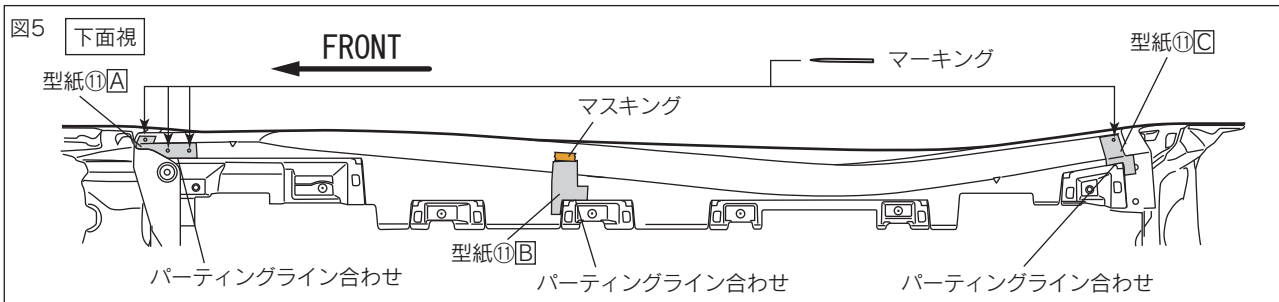
👉アドバイス：モール⑬⑭は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼り付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

## ■ モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	グレー
1G0	ダークグレーマイカ	ブラック
1J2	ソニックシルバー	グレー
1J7	ソニックチタニウム	グレー
1L1	ソニッククロム	ブラック
1L2	ソニックイリジウム	グレー
223	グラファイトブラックガラスフレーク	ブラック
3S0	ガーネットレッドマイカ	ブラック
3T5	ラディアントレッドコントラストレイヤリング	ブラック
4X2	アンバークリスタルシャイン	ブラック
4Y5	ソニック銅パー	ブラック
5C1	ネーブルスイエロー	グレー
6X4	テレーンカーキマイカメタリック	ブラック
8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	ブラック
8X5	ディープブルーマイカ	ブラック

## □ 取付準備

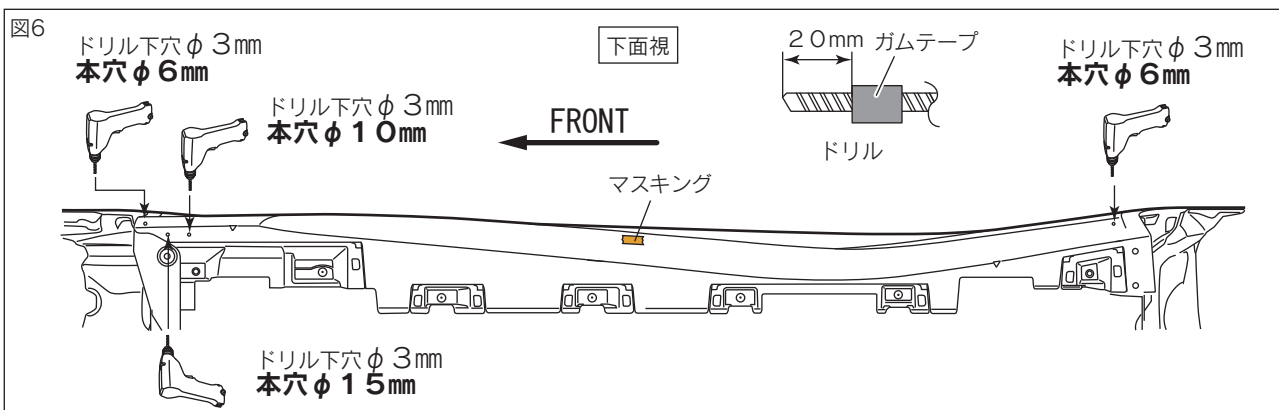


1. 図5のようにロッカーパネルモールディングの下面に型紙①A、①B、①Cを貼付け、指示部をマーキングする。 (左右各4箇所)

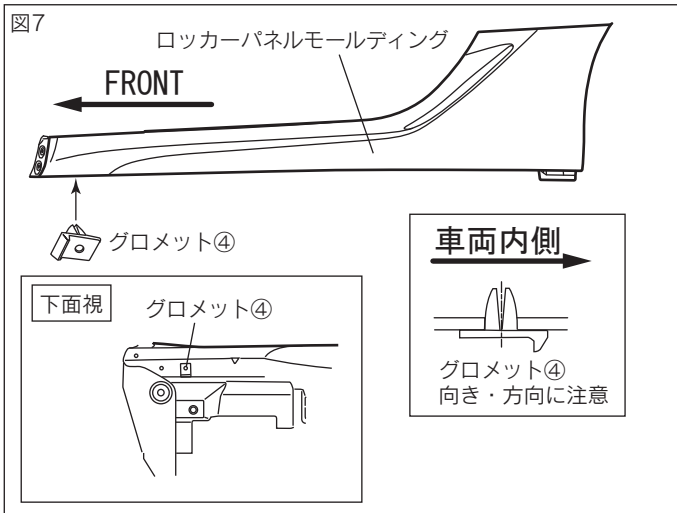
⚠ 注意：型紙の末端がずれていると、貼付け位置がずれますので貼り直してください。

🔧 アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、穴開け治具を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

2. 図5のように型紙①Bを貼付け、型紙①Bの上面（穴開け治具の取付高さ）にマスキングテープを貼付ける。 (左右各1箇所)

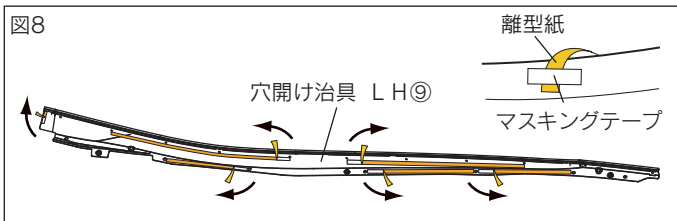


3. 図6のように型紙をすべて剥がし、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、 $\phi 3\text{mm}$ で下穴を開けた後、それぞれドリルを使用してマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。 (左右各4箇所)

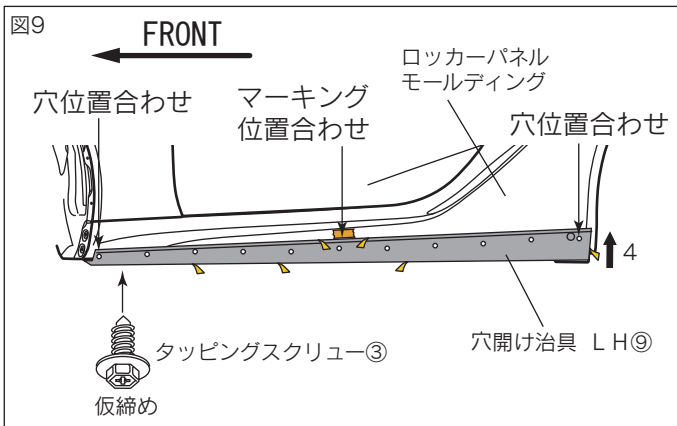


4. 図7のように10mmの穴の下面部にグロメット④を差し込む。  
(左右各1箇所)

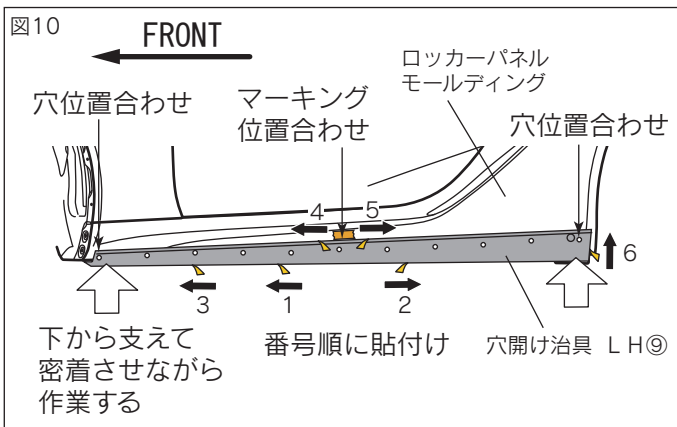
△注意：グロメット④の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー③が取付かなくなります。



5. 図8のように穴開け治具 LH⑨の両面テープの離型紙を矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。  
(左右各6箇所)



6. 図9のようにタッピングスクリュー③を仮締めする。  
(左右各1箇所)



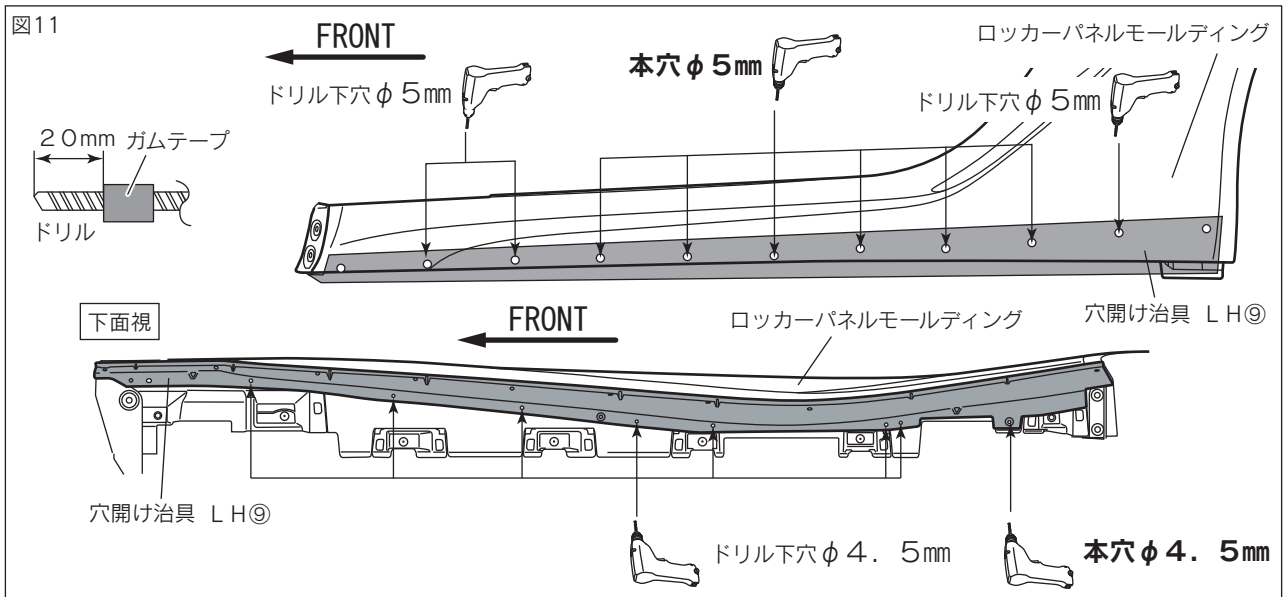
7. 図10のように穴開け治具⑨の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。  
(左右各6箇所)  
**{49N (5kgf) 以上}**

8. 車両修理書に従い、穴開け治具を付けたまま車両からロッカーパネルモールディングを取り外す。

△注意：取外した車両クリップ・ロッカーパネルモールディングは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

△注意：ロッカーパネルモールディングを取り外す際は、取付けリブの破損に注意して慎重に取外してください。





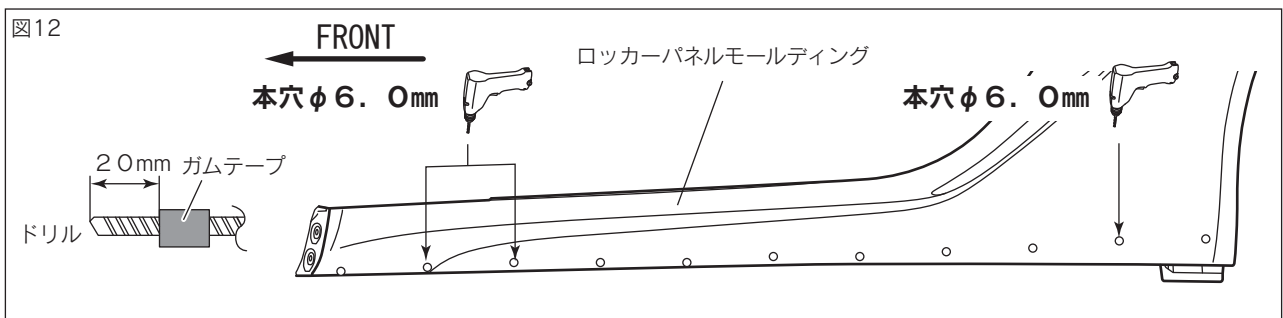
9. 図11のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻き付け、位置出し治具の穴位置に合わせて、側面φ5mm、下面φ4.5mmで穴を開け、穴のバリを取除く。  
(側面:左右各9箇所 下面:左右各8箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

10. 穴開けが終わり次第、穴開け治具⑨とマスキングテープを取り外す。

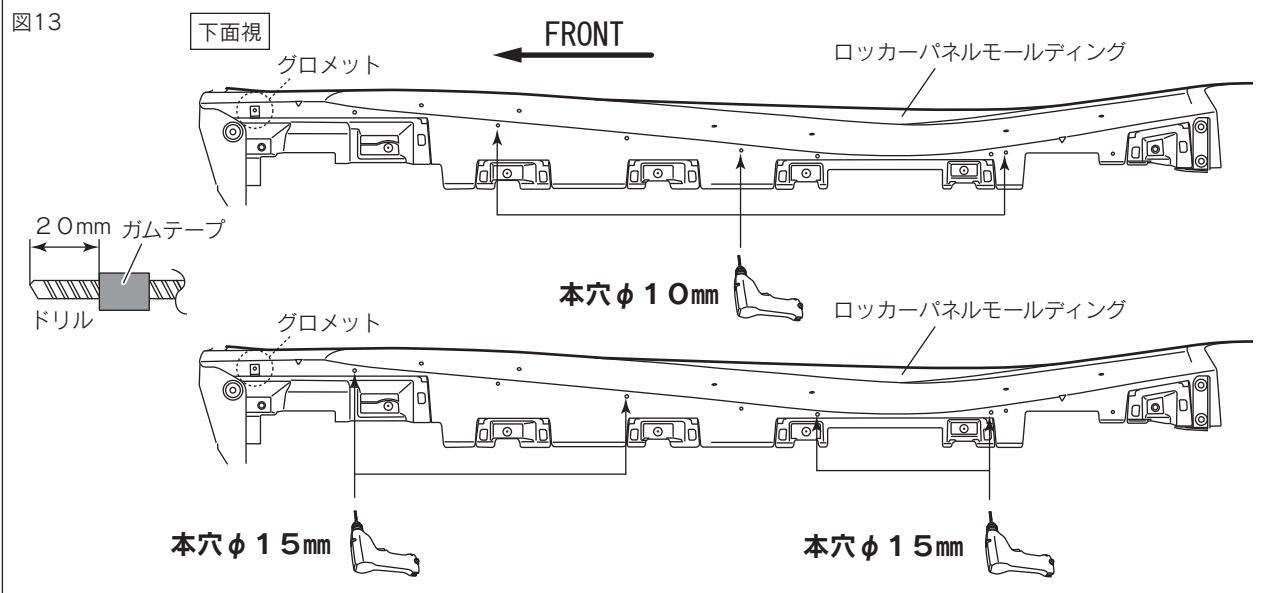


11. 図12のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、前から2,3番目の穴と後ろから2番目の穴をφ6.0mmで穴を開け、穴のバリを取除く。(左右各3箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



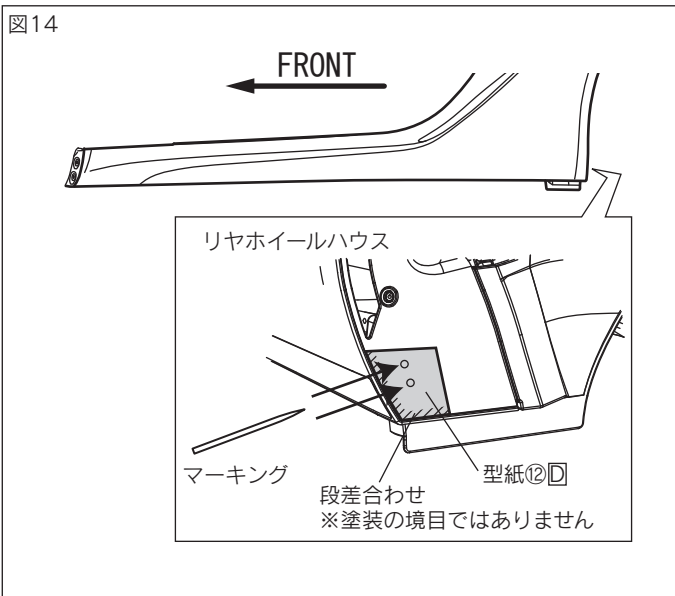
12. 図13のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、ロッカーパネルモールディング下面に取付けたグロメットを基準に4.5mmに開けた下穴の車両フロント側から2,4,7番目をφ10mm、1,3,5,6番目をφ15mmで穴をあけ、穴のバリを取除く。(左右各7箇所)

🔧 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取除いてください。

⚠️ 注意：穴径を間違えないよう注意して下さい。間違えると取付け出来なくなる恐れがあります。

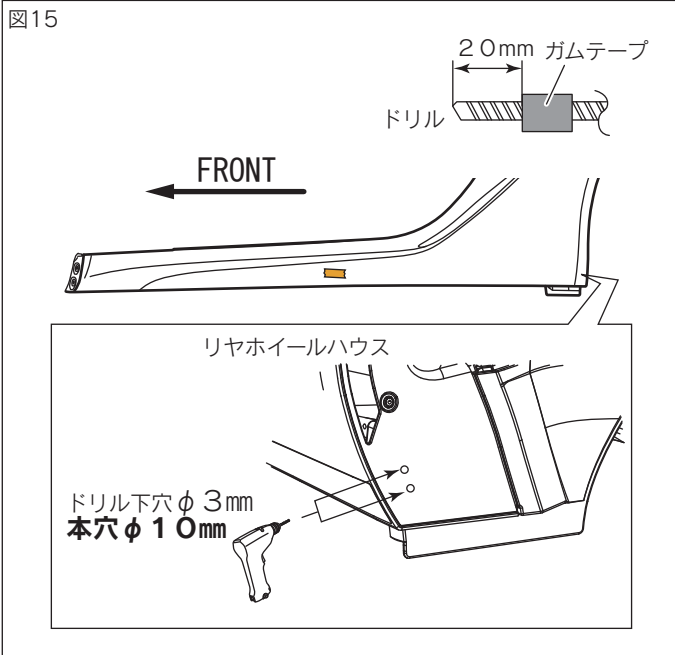


13. 図14のように型紙①Dをリヤホイールハウスの部に貼付け、指示部をマーキングする。(左右各2箇所)

⚠️ 注意：型紙の末端がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼り直してください。

🔧 アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、サイドスカートを仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。





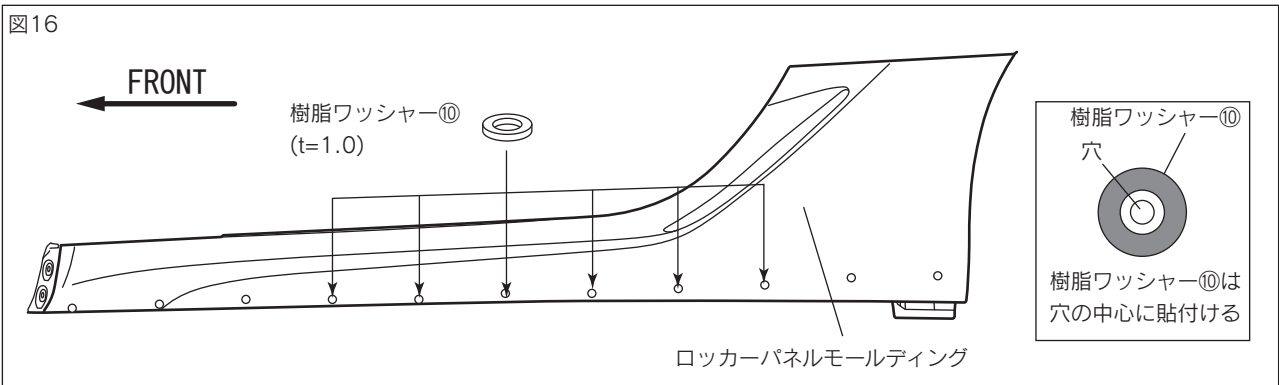
14. 図15のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mmで下穴を空けた後、それぞれドリルを使用してマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。(左右各2箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

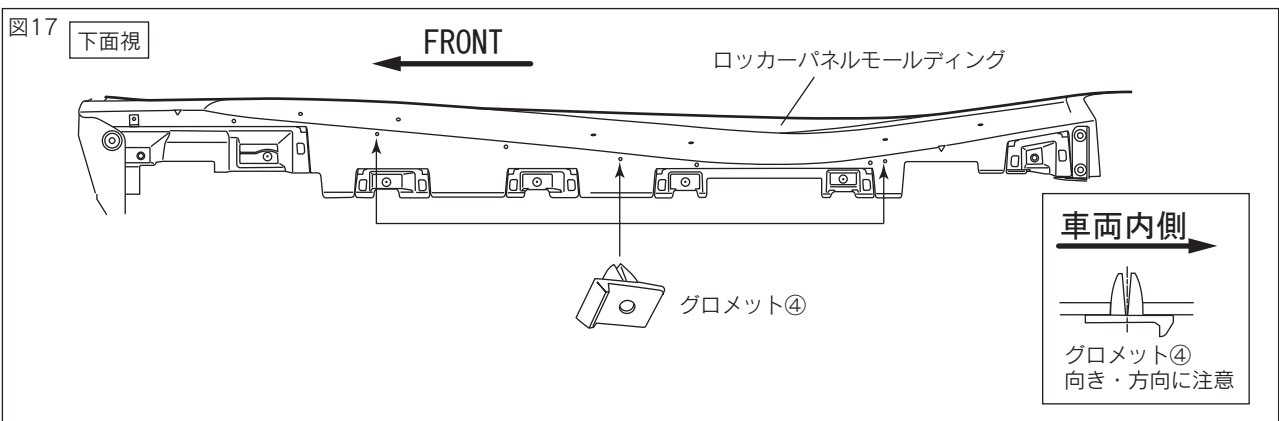
⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

### 取付要領

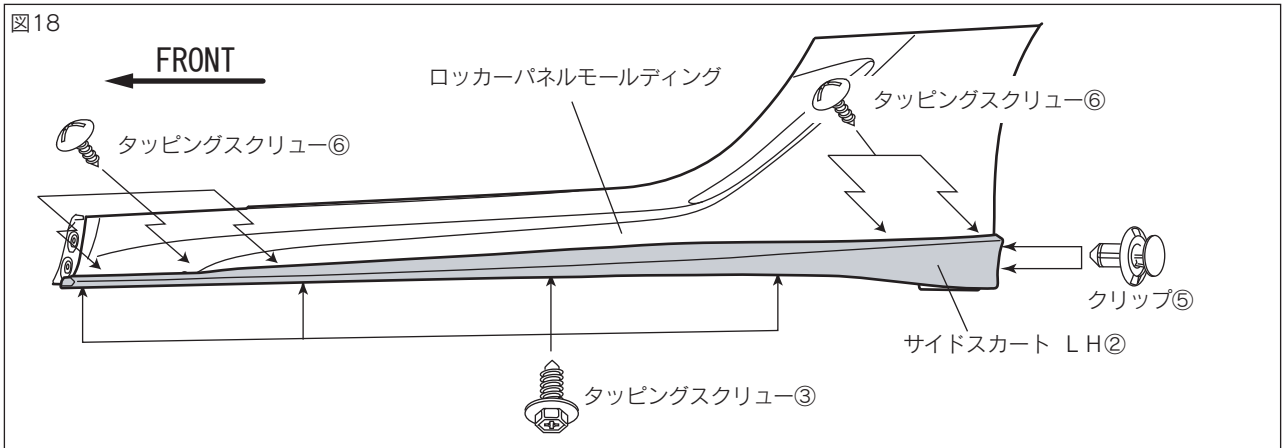


1. 図16のように5.0mmに穴開けした側面部を脱脂して、樹脂ワッシャー⑩(t=1.0)を貼り付ける。(左右各6箇所)

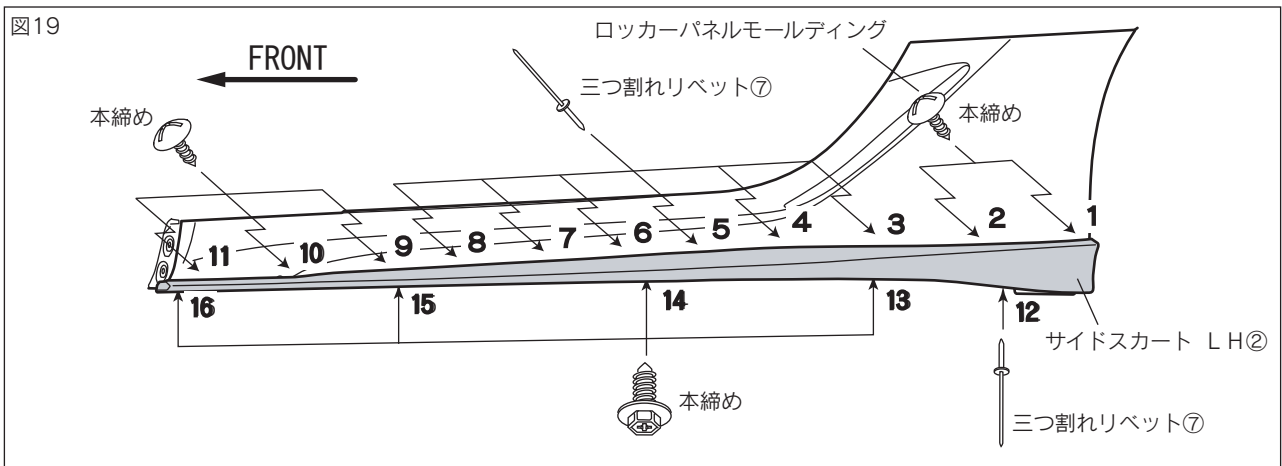


2. 図17のように10mmの穴の下面部にグロメット④を差し込む。(左右各3箇所)

⚠️ 注意：グロメット④の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリー③が取り付けなくなります。



3. 図18のようにサイドスカート②を合わせ、グロメット④にタッピングスクリュー③を仮締めする。  
(左右各4箇所)
4. 図18のようにロッカーパネルモルディングの裏面からタッピングスクリュー⑥を仮締めする。  
(左右各5箇所)
5. 図18のようにロッカーパネルモルディングのホイールハウスをクリップ⑤で固定する。  
(左右各2箇所)



6. 図19のようにロッカーパネルモルディングとサイドスカートにスキが無いことを確認して、番号順にタッピングスクリュー③、三つ割れリベット⑦、タッピングスクリュー⑥を固定する。  
 タッピングスクリュー③:(左右各4箇所)  
 三つ割れリベット⑦:(左右各7箇所)  
 タッピングスクリュー⑥:(左右各5箇所)

△注意：三つ割れリベットを打ち込む際はやり直しが出来ませんので、三つ割れリベットを確実に穴の奥まで差し込みスキが無いことを確認して固定してください。

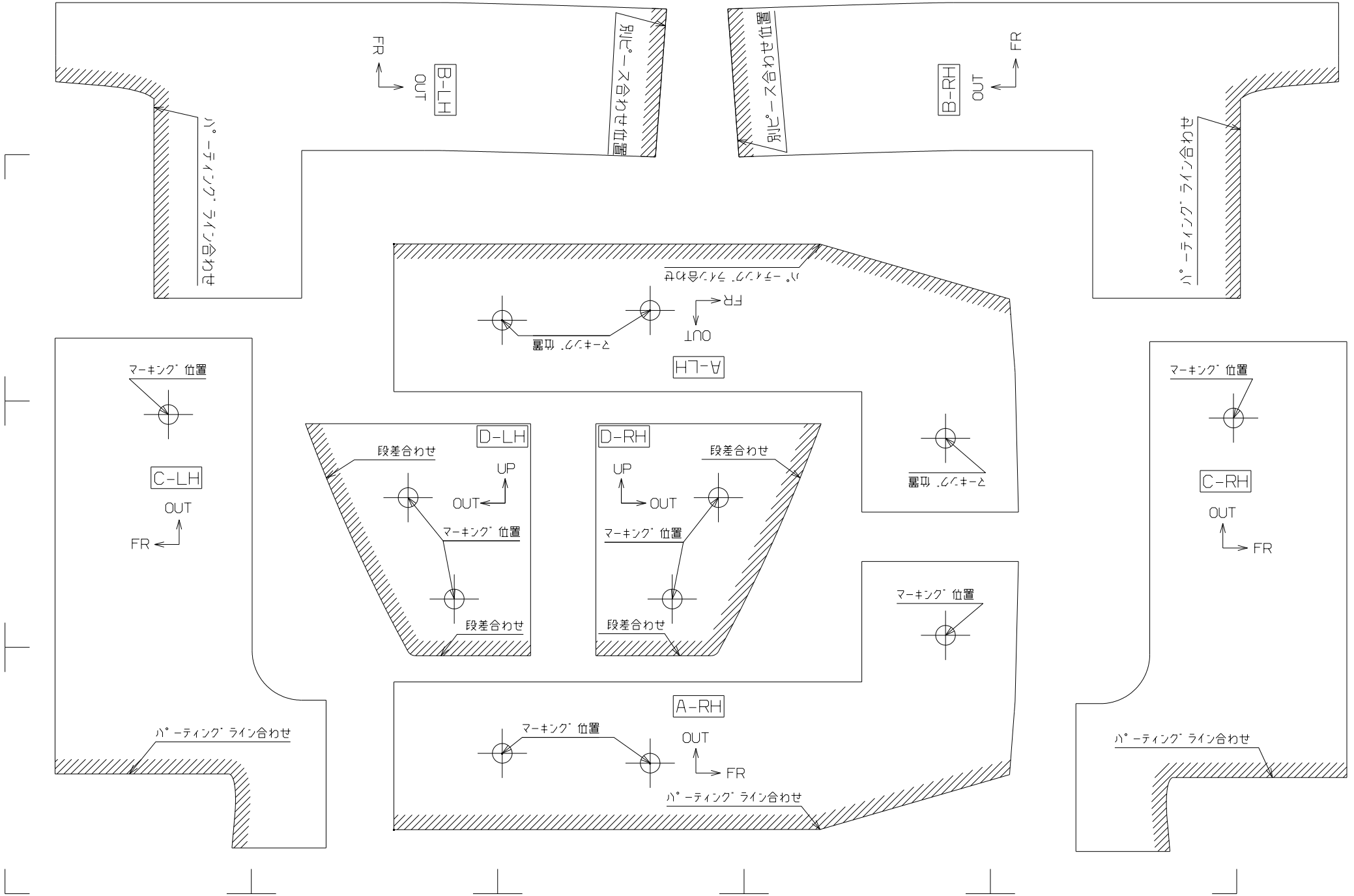
7. ロッカーパネルモルディングを車両に復元する。

#### ■取付完了後の点検・注意事項

1. サイドスカートがタッピングスクリュー・三つ割れリベット・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. サイドスカート及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
TRD商品問い合わせ窓口  
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地  
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122  
<http://www.trdparts.jp/>

 TOYOTA CUSTOMIZING & DEVELOPMENT



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

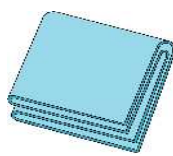


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

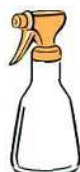
## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス



WET 用  
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは  
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

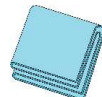
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



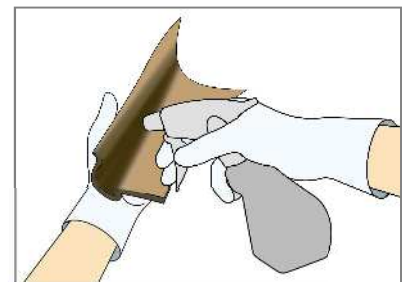
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET用ウエスにスプレーボトルを5cmほど離して、初回は10回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降はWETウエス表面が乾く前に追加で5回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。



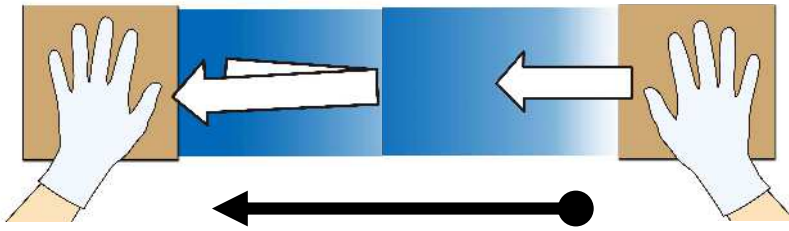
● 取付け面の脱脂作業を行う

① 【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

② 【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

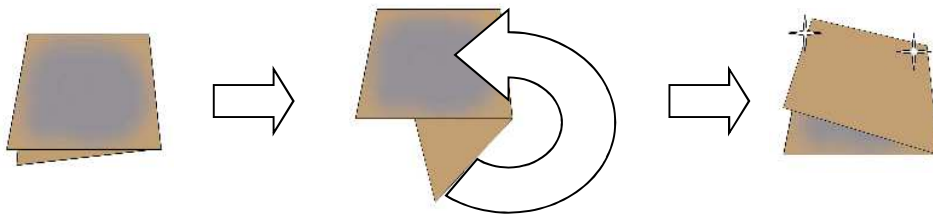
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。